



かんら

議会だより

群馬県甘楽町議会
令和5年1月15日
192号



インターネットからも
閲覧できます!



令和4年12月定例会

第4回定例会議案審議……………2～3
討論……………4
一般質問 4人が町政を問う……5～8

議会活動報告……………9～10
町の事業に注目!行政視察受入……………11
かんらの歴史を綴る風景、編集後記……12

令和4年甘楽町議会 第4回 定例会 (12月)

妊娠・出生届出時に経済的支援 補正予算を可決

第4回定例会を12月8日(木)・14日(水)までの7日間開催しました。町長から提出された議案22件について審議・採決した結果、すべて原案のとおり可決しました。最終日14日には、議員発議による条例の制定1件、意見書提出1件を承認し、4名の議員が6問の一般質問を行い、閉会しました。

令和4年度補正予算 6件

● 一般会計 (第5号)

1億9500万円を追加
(総額: 72億180万円)

● 国民健康保険事業特別会計 (第3号)

2461万8千円を追加
(総額: 14億7107万8千円)

● 介護保険事業特別会計 (第2号)

91万9千円を追加
(総額: 13億6051万1千円)

● 農業集落排水事業特別会計 (第2号)

157万3千円を追加
(総額: 1億1759万3千円)

● 公共下水道事業特別会計 (第2号)

1588万8千円を追加
(総額: 4億6870万4千円)

● 水道事業会計 (第2号)

【収益的収入・支出】

収入: 4千円を減額し、
2億4897万6千円
支出: 18万2千円を追加し、
2億4336万円

【資本的支出】

支出: 2万7千円を追加し、
2億7532万4千円

条例の制定 2件

● 個人情報保護法施行条例

個人情報の保護に関する法律の改正により、地方公共団体の個人情報保護制度は全国的な共通ルールのもと同法律が直接適用されるため、現行の町個人情報保護条例を廃止し、同条例に代わる条例を制定

● 個人情報保護審査会条例

個人情報保護審査会の運営について定めるもの

条例の一部改正 13件

● 議会議員の議員報酬等に関する条例

人事院勧告に準じた町議会議員の期末手当の改定

● 町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例

人事院勧告に準じた町特別職の期末手当の改定

● 町職員の給与に関する条例

- ① 人事院勧告に準じた町職員の勤勉手当と若年層の給与改定
- ② 令和5年度から町職員の定年が段階的に65歳まで引き上げられることに伴う改正

● 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

人事院勧告に準じた町会計年度任用職員の給与等の改定

● 町職員の定年等に関する条例

町職員の勤務時間、休暇等に関する条例

● 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例

● 町職員の育児休業等に関する条例

● 職員の懲戒の手続及び効果に関する条例

● 町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例

● 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例

前記7つの条例改正は、令和5年度から町職員の定年が段階的に65歳まで引き上げられることに伴う改正

● ふるさとづくり寄附金条例

寄附金の活用範囲を拡充

● 公の施設の設置及び環境整備等に関する条例

笹浦公園(旧一中跡地に整備)を追加し、公の施設として管理・活用する

その他 1件

● 訴えの提起

滞納固定資産税を徴収するため、支払いを求める訴えを提起

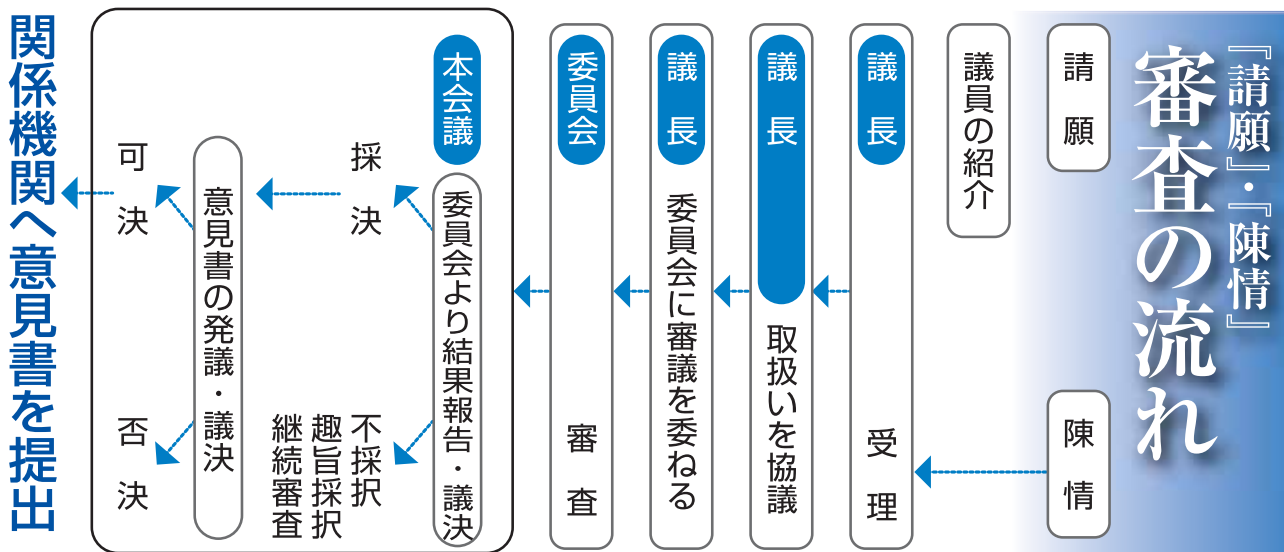
議員発議 2件

- 議会の保有する個人情報
の保護に関する条例
個人情報の保護に関
する法律の改正により、
町個人情報保護条例が
廃止されるため、議会
の保有する個人情報の
保護を目的とした条例
を新たに制定
- シルバー人材センター
の安定的な事業運営に
対する支援を求める意
見書

請願・陳情の審査結果

請願2件、陳情1件が提出
されました。すべて社会産業
常任委員会へ付託され、慎重
に審議し、その結果は下記
のとおり決定しました。

受付番号	件名	申請者	審査結果
請願第2号	シルバー人材センターの安定的な事業運営に対する支援を求める請願書	(一社)甘楽町シルバー人材センター 理事長 落合 伸夫 紹介議員 山田 光男	採 択
請願第3号	国に「旧統一教会等による被害の防止・救済を求める意見書」の提出を求める請願書	日本国民救援会群馬県本部 会 長 吉野 晶 紹介議員 山田 邦彦	継続審査
陳情第2号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 執行委員長 出浦 匠人	趣旨採択



議員の賛否がわかれた審議議案

(下記以外は、すべて全会一致で承認されました)

議員名	山田 光男	堀口 博	白石 豊樹	吉田 恭介	横尾 稔	相川 忠夫	金田 倍視	黒澤 篤	中野喜久勇	富岡 朝男	山崎 澄子	山田 邦彦	議決結果
請願第3号(件名は「請願・陳情の審査結果」に記載)を継続審査とすること	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため表決に 加わりません	○	○	×	可
陳情第2号(件名は「請願・陳情の審査結果」に記載)を趣旨採択とすること	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため表決に 加わりません	○	○	×	可

第4回定例会 討 論

○請願第3号

国に「旧統一教会等による被害の防止・救済を求める意見書」の提出を求める請願書

委員会審査結果「継続審査」に

反対

山田邦彦 議員

先日国会で、いわゆる「救済法」ができましたが、すべての被害者を助けるものではありません。そもそも統一教会の歴史は、そのまま社会とのあつれきの歴史と言えます。

1950年代（S30年代）に韓国から日本に上陸した世界基督教統一神霊協会（統一教会）は、「原理研究会」の名で大学生相手に勧誘活動を展開。学業を放棄して教団活動に走る学生が続出し、すぐに社会問題化しました。「霊感商法」や「合同結婚式」。信者へのリンチ事件、献金と称して1億円を教団に取られたと訴える事件もあります。

こうした極めて過激な活動は、昭和の終わりがピークだったようです。自称メシアの文鮮明教祖が没した後も、霊感商法や偽装勧誘は依然として続いているのです。まさに今現在日本中で暗躍しています。今回このような請願（被害者救済と、消費生活等相談窓口

の強化など）が出たわけなので、ぜひ「採択」していただきたいと思い「継続審査」に反対いたします。

○陳情第2号

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書

委員会審査結果「趣旨採択」に

反対

山田邦彦 議員

この陳情は、安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求めるものです。

住民の皆さんの中には、「経営者の努力を望む」声や「国の制度なのでなかなか変えられない」「意見書を出すだけが支援の行動ではない」という意見もありますが、私は今とくにコロナウイルス感染の拡大によって、普段でも大変な仕事をされている医療や介護の関係者に対して、キチンと陳情を「採択」し国に対して意見書を上げるべきと考えます。

もし、そこまでしないのであれば、きちんとした対応策を議会として考えるべきだと思います。

それがありませんので賛成できません。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今号から、各議員の一般質問に関連するSDGsのロゴを掲載します。

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は2015年に国連で採択された、持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標です。豊かさを追求しながら地球環境を守るため、17の国際目標と、目標を達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

4人の議員が発言

1. オリーブの植樹で荒廃・遊休農地の再生活用について

くろさわ あつし
黒澤 篤 議員

2. 帯状疱疹ワクチン接種（補助）について

ほりぐち ひろし
堀口 博 議員

3. 移住定住促進策について

よこお みのる
横尾 稔 議員

4. 介護保険について

やまだ くにはこ
山田 邦彦 議員

5. 「町指定ごみ袋」の値下げを

山田 邦彦 議員

6. 「オーガニックビレッジ宣言」を

山田 邦彦 議員

ここが聞きたい!

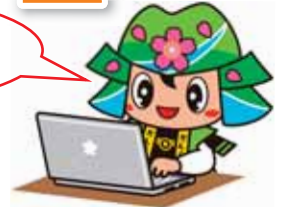
町政を問う 「一般質問」

「一般質問」とは、議員が、町長をはじめとする執行機関に対して行う質問のことです。内容は行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただし、報告や説明を求めたりします。
※内容を要約して通告順（発言順）に掲載します。

一般質問の様子（一部）を
YouTube でご覧ください。



URL <https://www.town.kanra.lg.jp/gikai-jimu/gikai/news/20210402094343.html>



■議員 オリーブといえば、チエルタルド市を思い浮かぶ方が多いことでしょう。ワインとオイルを輸入し、道の駅で販売していて双方人気が高いようです。国内では小豆島が栽培110年以上になる発祥の地です。県内では前橋・館林・太田など中東毛地区を中心に15年程前より栽培され、実は搾油され、そのオイルは国際品評会で高評価を得ているようです。さらに実はピクルスに、葉はお茶に加工され利用されています。町の荒廃・遊休農地が増える中、苗の導入に助成してオリーブを植樹し、オリーブパークを目指してはいかがでしょうか。



くろさわ あつし
黒澤 篤 議員

答

問

新年度より取り組み

農地の再生活用に
オリーブ植樹を

■町長 甘楽町はイタリアチエルタルド市との交流があり、町内に観賞用のオリーブの木が植わっています。荒廃農地対策を進めていくためにも、オリーブの植樹を実施する方向で積極的に検討します。

まずは、新年度より栽培場所・品種選定・商品化等を検討するため実証展示圃場を設置し、栽培を試みたいと思います。実を収穫するまでには数年かかりますが、最終的に





ほりぐち ひろし 議員

問

带状疱疹ワクチン
接種に助成を

答

新年度より助成に取り組み

3 すべての人に健康と福祉を



議員 最近、テレビで带状疱疹ワクチン接種推進の放映がされるようになりました。過労やストレス、加齢による免疫力低下が原因と思われま

町長 带状疱疹にならないためには日頃から体調管理を心がけ、免疫力が低下しないよう

「水痘ワクチン」と「带状疱疹ワクチン」があります。

9月21日の上毛新聞の記事で取り上げられましたが、県内では、渋川市・上野村及び嬭恋村がワクチン接種の一部助成を行っています。50歳以上が対象となりますが

① 新年度から助成に取り組めるよう準備を進めています。

● 带状疱疹ワクチン【接種回数2回】…約4万4000円（1回あたり約2万2000円）

② 当町では現在50歳以上の町民は何人か？

③ 50歳以上の人の带状疱疹予防接種としては

④ 助成制度の有無について5件の問い合わせがありました。

③ ワクチン接種は2回接種が必要です。費用はどのくらいか？

※医療機関によって金額が異なります。

① 町における移住相談件数、移住実績、支援金実績をお伺いします。

2019年には、国の「移住支援金制度」が始まり最大100万円が支給できるなど、動きが加速しています。

② 移住希望者に町のPRを行うため、ふるさと回帰センターを活用しています。主な活用内容は、センター内

住定住の相談に応じることが出来る人材の確保を検討したいと考え

④ 現在、町へのワクチン接種の問い合わせはあるか？

③ 移住・定住相談員の体制整備と強化策をお伺いします。

② 移住希望者に町のPRを行うため、ふるさと回帰センターを活用しています。主な活用内容は、センター内

住定住の相談

③ 移住・定住の支援体制整備を

人材の確保を検討する



よこおのり 議員

問

移住・定住の
支援体制整備を

答

人材の確保を検討する

11 住み続けられるまちづくりを



議員 コロナ禍で働き方の多様化に伴いテレワークが浸透し、本県への移住相談件数は

町長 ① 過去5年間の相談件数は85件、移住実績は22世帯31人。

令和4年度は支援金130万円を支給する見込みです。

令和4年度は支援金130万円を支給する見込みです。

② 移住希望者に町のPRを行うため、ふるさと回帰センターを活用

住定住の相談に応じることが出来る人材の確保を検討したいと考え

2019年には、国の「移住支援金制度」が始まり最大100万円が支給できるなど、動きが加速しています。

① 町における移住相談件数、移住実績、支援金実績をお伺いします。

② 移住希望者に町のPRを行うため、ふるさと回帰センターを活用

③ 移住・定住相談員の体制整備と強化策をお伺いします。

② 移住希望者に町のPRを行うため、ふるさと回帰センターを活用

住定住の相談

住定住の相談

③ 移住・定住の支援体制整備を

人材の確保を検討する





やまだ くにひこ
山田 邦彦 議員

問 介護保険見直し、
国に意見を

答 国の動向を見据える



■議員 町長がいつも発言している通り「高齢者は町の財産」だと思えます。日本は伝統的に、長寿を祝い、高齢者を大事にしてきましたが、政府は介護保険見直しの検討を進めています。

内容は●利用料の2割・3割負担の対象者拡大●要介護1、2のサービス削減●ケアプラン作成の自己負担導入●福祉用具の貸与から購入への変更等々で、負担増と給付削減の提案が目白押しです。利用者と事業者にとらなる矛盾、困難を押しつけるもので、認めることはできません。

○国に対して「改悪」をやめさせる意見を送ってはどうか。

■町長 重なる制度改正、高齢者を取り巻く状況の変化や地域の実情を踏まえ「高齢者保健福祉計画・介護保険計画」を策定し、サービス提供体制の確立や効果的な社会資源の活用と保健・予防事業の推進をしています。

町のサービス受給者数の推移は増加していますが、要介護認定率は国・県と比較して低い数値です。これは、介護が不要で健康な高齢者が多いことを示し、町が介護予防と健康増進に取り組んできた成果と考えます。

また、保険給付の適正化にも取り組んでおります。

現在、第9期介護保険事業計画の策定に向

		1998年	2022年
消費税率		0%	10%、8%
医療	サラリーマン本人の窓口負担	1割	3割
	高齢者の窓口負担(外来)	800円(定額)	1~3割
	国民健康保険税(1人の平均)	5万6327円	9万233円
年金	厚生年金の支給開始年齢	60歳	65歳
	国民年金保険料	7700円	1万6590円
その他	65歳以上の介護保険料	なし: 2000年開始	6014円
	障がい者福祉の自己負担	応能負担(9割は無料)	1割

け、地域課題を把握するための調査を実施し、準備を進めています。引き続き、国の動向を見据えながら、安心していきいきと暮らせる町づくりの実現に向け取り組めます。

山田 邦彦 議員

問 「町指定ごみ袋」の値下げを

答 当面は現状で



■議員 本来ごみ処理費は、税金(所得税や住民税、消費税等々)を集めて行う行政の中で行うべきで、特別にお金を集めて行うべきではありませんが、残念ながら「有料」です。

甘楽町は、現在7年連続「1人1日当たりのごみ量」が群馬県で1番少ない状況を作っています。これはまさに「オール甘楽」で成し遂げたもので大変に素晴らしいものです。

住民の皆さんがこれだけ協力しているのだから、町としても住民の皆さんに対して「感謝」の意を伝えるべきではないでしょうか。

○町指定ごみ袋の無料化または値下げを行うてはどうか。

■町長 住民の皆さんには、有料ごみ袋を購入することで廃棄物処理手数料を負担していただいています。平成26年度から8年連続で、1人1日当たりの廃棄物排出量が県内最少の成果を上げることができ、一人ひとりのご努力・ご協力に対して心より感謝申し上げます。

令和3年度のごみ排出量は増加傾向であり、食品ロス等の減量への取り組みも必要です。環境省は、持続的循環型社会の形成のため、地方公共団体は廃棄物の減量化に向けて一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべきとして

います。

現在、廃棄物処理の広域化に向けて協議が進められていますので、方向性が出るまでは現状の施策を継続していきたいと考えています。

1人1日当たりのごみ量①・甘楽町の県内順位②と2位③との差④
～町の広報から山田くにひこ議員がまとめました～

年度	①	②	③	④
2014年度 H26	585g	1位	板倉町 593g	8g
2015年度 H27	587g	1位	板倉町 631g	44g
2016年度 H28	590g	1位	板倉町 659g	69g
2017年度 H29	597g	1位	板倉町 645g	48g
2018年度 H30	598g	1位	板倉町 686g	88g
2019年度 R1	595g	1位		
2020年度 R2	593g	1位	下仁田町 768g	175g

※2017年(H29)1月からゴミ袋の値下げを実施

山田 邦彦 議員

答 取り組み予定である

問 「オーガニックビレッジ宣言」を

■議員 「オーガニックビレッジ宣言」をし、健康で文化的な人生が送れるようにしてはいかがでしょうか。住民の皆さんが、健康増進や自給率を向上し、持続可能な日本を作ることにも繋がります。

①生産者へ効果的な補助を行ってはどうか

②学校給食をはじめ、高齢者施設、道の駅や、ふるさと館、一般食堂への拡大。各家庭でも実践できるような取り組みも重要です。

③消費者の中には「良いことはわかるが、値段が高いので買えない」と言う人がいます。オーガニックの優位性などを住民の皆さんへ啓発することが大事です。

■町長 「オーガニックビレッジ宣言」は、国の「みどりの食料システム戦略推進交付金事業」の中の「有機農業産地づくり推進事業」に申請し、試行的に有機農業の生産・流通・加工・消費の取り組みを行い、有機農業実施計画を策定したのち宣言を行うものです。町は令和5年度にこの取り組みを予定し、既に県に事前相談を済ませ

ています。

①有機栽培圃場の面積により1アール当たり1200円の補助金を交付しています。さらなる補助が行えるか検討します。

②まずは給食を中心に有機野菜を利用する取り組みを実施していきたいと考えます。

③様々なPR活動により有機農産物の優位性が町民に認知されるよう事業を進めます。



出典：農林水産省 Web サイト

15 陸の豊かさも守ろう



議会を傍聴して

70代 女性

傍聴席は満席。皆さん町政に関心を持っていらっしゃるのだと思った。厳粛な議場。粛々と議事進行。一目見て議員各位「若い」と思ったのは、私が年を重ねたからか。傍聴資料を見ながら拝聴。

4月から西毛地域を散策し、観光がその土地の光を観るといごとくと実感した。もし私が首長だったら、議員だったらという思いで見ると景色がまた違って来る。歴史ある街並みが百年の計で進められるよう、高齢者の散歩、押し車にも優しい歩道の整備、町の宝の子ども達のためにも誇りの持てる町。ハード面もソフト面も「甘楽町はうらやましい」と言われるが、これが続くよう町長さん、議員さん方のご健闘をお願いします。

次回の定例会は3月です

3月7日(火)～14日(火) <一般質問は14日(火)の予定です>

本会議の会議録は、町ホームページの「甘楽町議会」でご覧になれます <https://www.town.kanra.lg.jp>

議会を傍聴
しませんか？

12月定例会の傍聴者は15人でした。傍聴について、詳しくは
議会事務局(☎74-3022)までお問い合わせください。



ご協力をお願いいたします

傍聴の際は、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用と距離を保っての着席をお願いいたします。また、発熱や風邪症状のある方の傍聴はご遠慮いただいております。

総務文教常任委員会 救命講習

12月9日(金)

大切な命を救うために

とみあか 富岡 朝男

「わかりますか」倒れている人の反応を確認します。「誰か来てください」大声で周りの人の助けを求めます。12月9日に富岡消防署甘楽分署で救命講習を受講しました。

まず心肺蘇生法で呼吸の確認をしてから胸骨圧迫を開始し、AED(自動体外式除細動器)が到着したら使用し、繰り返し実施する。

何年かぶりの講習でしたので、説明してくれた署員に教わりながらの受講でしたが、いざという時のためには何回も受講することが必要と感じました。

皆さんも大切な人を守るために救命講習を受講してみてくださいいかがですか。



社会産業常任委員会 町内視察

12月9日(金)

甘楽スマートICの整備

よしだ 吉田 恭介

上信越自動車道吉井IC(インターチェンジ)と富岡ICの中間地点に位置する甘楽スマートICの開通に向けて現場視察を行いました。

スマートICの開通により、甘楽町の観光誘客施設及び企業へのアクセス、日常生活での効率化など地域活性化の効果も期待できます。

県内のICとしては初めて環道型退出路を採用すること
で、コンパクト化を図っています。

また、大型車対応可、速度抑制、逆走抑止等のメリットが多く見受けられました。

今春の開通に向け順調な工事の進捗を願います。



森林管理の重要性を認識

あいかわ 相川 忠夫

町の第6次総合計画に「豊かな自然を育む森林」があり、その森林の育成・保全の状況を視察しました。

適正な森林管理は水源涵養には欠かせないことから、水源地へと繋がる森林を間伐し、11月に町内小学生と高崎商科大学の学生が植林体験を行った大平地内の町有林を訪れました。植林後の幼齢木には、シカなど野生動物による食害を防ぐための保護チューブがかけられていました。

地域おこし協力隊の高野氏の指導のもと、森林経営管理制度を利用し、2年目以降も町民の皆さんにご理解いただけるような永続的活動と活躍を希望して視察報告といたします。



社会産業・総務文教常任委員会

合同研修会

11月8日(火)

森林・林業の課題と現状

山田 光男
やまだ みつお

林野庁を定年退職後、当町に移住され地域おこし協力隊員として活動されている高野憲一氏に『これからの森林・林業について』講演いただきました。世界と日本の森林の状況、林業の現状と課題、森林経営管理制度等を専門家の視点からわかりやすく説明してもらいました。

町の総面積の58%を占める山林は、急斜面が多く、価格の低迷や所有者の代替わり等で杉や檜が伐採されずそのまま大きくなっているのが現状です。

町が目指す森林管理の健全化には課題は多くとも、方向性を見つけられるのではと確信した講演でした。



県内町村の議員で3年ぶりの研修 群馬県町村議会議員研修会

11月1日(火)、群馬県町村議会議員研修会が吉岡町文化センターにて開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりましたが、県内各町村の議会議員が参加し、講師にお招きした江藤俊昭氏(大正大学教授)と南利幸氏(気象予報士・防災士)の各講演に熱心に耳を傾けました。

- ・江藤氏の演題『議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き～住民福祉の向上を実現する町村議会のための条件整備～』
- ・南氏の演題『気象変動・異常気象とこれからの防災・減災対策』



読みたくなる議会広報紙とは

議会広報研修会

11月25日(金)、町村議会のための議会広報研修会が群馬県市町村会館(前橋市)にて開催され、議会広報常任委員が参加しました。

甘楽町のほか3町村が広報クリニックを希望し、講師の芳野政明氏にそれぞれの議会広報の優れたところや改善点・課題について解説していただきました。

研修会で学んだことを今後の編集活動に生かし、町民の皆さまへの情報発信に努めていきます。



● 視察受入報告

甘楽町の「若者定住への取り組み」に注目!

～行政視察にお越しいただきました～

11月30日(水)

北海道仁木町議会総務経済常任委員会

人数：13人(随行職員含む)

内容：かんら未来人財応援事業について



町内に定住または町内企業に就業する人の奨学金返還を支援する制度で、若者の定住と町内企業の活性化を図っています!



20日	11日	8日	6日	1日	12月	29日	28日	27日	25日	20日	18日	17日	12日	10日	9日	8日	3日	1日	11月	30日	26日	22日	19日	17日	16日	10月					
都市農村交流協会理事会・評議員会	古タイヤ・バッテリー等回収	第4回定例会	文化会館企画運営委員会	消防団歳末特別夜間警戒出発式	議会広報常任委員会	町生涯学習推進協議会	学校給食運営委員会	農業振興地域整備促進協議会	地域防災訓練	議会広報研修会	小型家電回収	全員協議会	議員協議会	県社会教育研究大会	健康祭	県更生保護大会	町村議会議長全国大会	県町村議会議長会臨時総会	社会産業・総務文教常任委員会合同研修	総合表彰者表彰式	産業文化祭	小中学校PTA連合会予算要望	県町村議会議員研修会	古着リサイクル回収	県国保運営協議会会長連絡会総会・研修会	県植樹祭	議会改革推進委員会	全員協議会	議員協議会	県道路協会富岡支部通常総会	秋季検閲式

日程(主な活動記録)

8日	6日	5日	1日	1月	23日	21日
二十歳のつどい	消防団・甘楽分署出初式	上毛新聞社新年交歓会	県議会新春交流会	新年互礼会	元日駅伝	議会定例会
						富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合
						富岡地域医療企業団議会臨時会
						議会広報常任委員会

全員協議会報告

議員協議会

○富岡地域医療企業団定例会報告 他7件

10月19日(水)

全員協議会

○新型コロナウイルス感染症の警戒レベル変更等について 他18件
○議員質問事項『県・町道などの倒木被害の未然防止について』

議員協議会

○小口融資審査委員会報告 他12件

11月18日(金)

全員協議会

○12月議会提案予定の条例改正の制度概要について 他16件
○議員質問事項「今後のPTAのあり方について」

議員協議会

○小口融資審査委員会報告 他5件

12月14日(水)

全員協議会

○年末年始の諸行事について 他10件
○議員質問事項『通学バスの運行範囲の見直しについて』

毎月開催

- ・町例月出納検査
- ・小口融資審査委員会
- ・広域圏例月出納検査

えんくう き ぼりぶつぞう 円空の木彫仏像

町指定重要文化財

■所在地 甘楽町大字小幡1 小幡八幡宮（町歴史民俗資料館で展示）

円空の木彫仏像（3体）は、1979年（昭和54年）に小幡八幡宮で発見されました。

- ①善女龍王立像【像高40.3cm】頭部より背に龍が彫られています。
- ②十二神将立像【像高56cm】三角材を使用し、高い髻（髪の毛を頭の上で束ねた部分）を彫り出しています。
- ③善財童子立像【像高35.5cm】足元から頭部へ体を左に90度捻り、両手を右肩に上げて合掌しています。

円空（1632～1695年）は江戸時代初期の僧で、全国各地を行脚し、多くの仏像を彫りました。1681年に貫前神社（富岡市）で大般若経を読み終えたといわれているため、この頃に①～③の仏像を刻んだと推測されています。

円空の彫った仏像は「円空仏」とよばれ、鈍彫りの痕をそのまま残し、素朴な美と力強さがあり、豊かな個性を示すのが特徴です。

出典：甘楽町の文化財



①



②



③

編集後記

コロナ禍の中、議員仲間を取り組んだ蕎麦づくり体験。地元名人指導のもと、初めて見る道具でさく立て、種の蒔きつけ、そして蕎麦の育ち具合に合わせての土寄せ作業。澄んだ那須の里に満開になった蕎麦の花見が終わり、11月初旬、参加者全員で汗を流しながらの刈り取り作業が終わり、いよいよ昔懐かしいレトロな足踏み脱穀機の登場です。タイミングが合わず大変でした。

後日、蕎麦打ち名人指導のもと、蕎麦打ち体験をしました。持ち帰った蕎麦は格別な味でした。那須の谷間に「ガーコン、ガーコン」と収穫の喜びが印象に残っています。

堀口博 記

表紙の説明

1列目
(右から)
山田 邦彦
相川 忠夫
金田 倍視

2列目
(右から)
中野喜久勇
山崎 澄子
山田 光男
堀口 博
横尾 稔

吉田 恭介
富岡 朝男
白石 豊樹
黒澤 篤

発行責任者
議長
中野喜久勇

議会広報常任委員会

委員長 山田 邦彦
副委員長 堀口 博
委員 山田 光男
横尾 稔
黒澤 篤
山崎 澄子

皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。